

依頼者と信頼関係築く

何でも司法教室

弁護士

山本 樹さん



Q 依頼者と関係を築く上で心掛けていることは何ですか？

A 私は滋賀県の出身で、島根県、特に出雲に活動の本拠を移してからまだ1年足らずです。ですから、私自身にそのような印象をもつ出来事があったというわけはありませんが、島根で活動しておられる諸先輩からよく耳にすることとして、「出雲人は本音を見せない」という話があります。

このようなことを言うと、出雲の方々から、そんなことはない、一へんにするな、とお叱りを受けそうですが、弁護士としては、なかなか放っておけない話です。

というのも、弁護士による事件処理は、その少なくない部分を依頼者から、お聞きする情報に頼ることになるからです。共有できていなかった事実の存在が意外な落とし穴になることもあります。

もっとも、依頼者が弁護士に全てを話すことに抵抗を持つのは当然ともいえます。なぜなら多くの場合、依頼者にとって、弁護士はその依頼のために初めて会う人物に他ならないからです。

私は、できるだけ何でも話してもらえりような信頼関係を、依頼者との間に築けるよう意識して日々活動しています。

出雲人は一度信用してもらったことができれば、とことん深く付き合える、とも聞いていますので、これからそのような関係を築くことができればと思います。

(山陰リーガルクリニック)